



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2019年

12月 第109号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2019~2020 年度主題

国際会長 Jennifer Jones(オーストラリア) “ Building today for a better tomorrow
「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ) “ Action! ” 「アクション!」

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革、愛ある行動!」

あずき部長 赤羽美栄子(松本) 「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」

長野クラブ会長 森本俊子 「身近なつながりを大切にしよう」



今月の言葉

照一隅 一隅を照らす(一つ一つ出来ることをする以外に、何かを実現することは出来ない)
(医師、人道活動家 中村 哲先生)

12月例会

日時 2019年12月18日(水) 6:30pm~

会場 レストランやま

司会 福島 Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長挨拶
4. ゲスト紹介
5. 部会報告、異業種交流会報告、被災地支援の実際について、古切手来月までに、次期会長について
8. クリスマスディナー
ゲーム、音楽
フリートーク
9. ハッピーバースデー (堀内 Y's)
10. クリスマスソング
11. クリスマス献金
12. 閉会点鐘 会長

私達は、微力でも、無力ではない 森本俊子

アフガニスタンやパキスタンの国境付近の貧困層の医療支援活動に取り組む中で、干ばつに苦しむ地域の人々を見て、用水路の建設に取り組み、荒廃した農地の復興と拡大を自ら地域の人々の先頭に立ち実現してきた中村哲さんが、暴漢の凶弾に倒れたという報道は、そのあまりの理不尽さに世界中に衝撃を与えています。私たちの価値観からすれば、全くあり得ないことです。なぜ?人間の心の奥には説明を超えた醜いものが存在しているのだと思わざるを得ません。アフガンはこの40年、今も戦時下にある、という中村さんの言葉も残されています。そして、その中にもあっても、今人々にとって何が一番必要か、と考えた末に「100の診療所より一本の水路」とまで考えてせっせとシャベルを動かし、石を運んでおられました。残された方たちが、「その意志を引き継ぎます。と言っておられるのを」頼もしく思い、これからもアフガンへの目をそらさないようにしたいと思います。

そして、今私たちの目の前にあるのは、台風19号の爪痕への対応です。アジア太平洋地域会長の田中博之さんが、東京からボランティアに来てくださり、そのレポートで「私達は微力ではあるが無力ではない」と書いて激励してくださっています。

11月のデータ

在籍会員 9名
例会出席者 6名 (66%)

例会のご案内

毎月第3水曜日 2019年12月18日(水)
18時30分から20時30分
ところ レストラン やま8
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (森本会長)
koba31819@icloud.com (小林書記)

会長 森本俊子
副会長 福島貴和
書記 小林美彦
会計 倉石美津子
ブリテン 堀内雅俊
担当主事 露木淳司

11月の例会報告

出席者 小泉一真、小林美彦、堀内雅俊、福島貴和、森本俊子

台風19号の被害の様子を 各人の経験などをもとに交換し、長野クラブとして何ができるかを話し合った。物資の支援については、十勝の山田理事から早々に送っていただいた野菜の詰め合わせ100キロの届け先とその際に知った各被災地の現状などを報告しあった。また、山梨YMCAの福田里奈子主事による下見ボランティアに始まる山梨からのボランティアへの感謝の気持ちの表し方や、支援方法を話した。12月14日のあずさ部会で、リンゴの販売による支援金集めや、募金をしようということになった。

支援の実際報告

① 十勝から野菜詰め合わせ10キロ入り10箱頂き、松代の桜の会でお世話になった長澤さん（千曲河原の小屋も流れ、桜の木の育った畑も全滅）山本さん（ボランティアに出動するほか経営するゲストハウスを1000円の宿泊費で提供）と、被災者への炊き出し活動を行っているカフェオーナー岡田さん、小布施の床上浸水被害をした地域の農家でいち早く2階に住み復興活動に励んだ拠点農家、ボランティアセンター、豊野の賛育会、募金活動も行う権バルのお店「坊主バル」などへ届けた。

②山梨YMCAから16日、19日、24日、26日と4回にわたり延70人に及ぶボランティアを派遣していただいた。

中にワイズメンもおられ、きつい、と感想を漏らされた。長野クラブからは軽食と飲み物、リンゴなどを差し入れした。東京YMCAからも支援が入って、妙高の小林さんや松本クラブの北村さんと合流したりした。長野クラブからは森本のほか、福島、倉石、小林、勝田らが見送り隊に加わった。

③田中アジア太平洋地域会長もボランティアに参加され、山梨のメンバーと合流。18日、神戸ポートクラブの大野勉さんも豊野の炊き出しテントでコーヒーサービスを行い、歌のサービスもしてくださった。

④とちぎYMCAの山田公平さんと、東京YMCAの秋田さんが豊野の賛育会の松村隆さんとのつながりで見え、賛育会の地域支援への活動を吸い上げ、まとめ上げ、長野クラブもこの地区の活動に加わったらどうかとお誘いくださり、森本、福島、小林の3人で、豊野沖団地の明光義塾前駐車場で行われた「サロン立ち上げの会議」にも出席した。

賛育会に森本が野菜を届けに行ったときには、まだ泥だらけだった賛育会の施設で、明日から炊き出しも始めるといっておられたが、その後12月10日現在入所のお年寄り160人はもどってきているとのこと。家庭訪問などで消息を確かめていたスタッフも、本来の仕事で忙しくなっている。12日には第一回がスタートした。長野クラブとしては重点的に応援したいと思う。

○写真 沖団地の被災した住宅の様子と各団体からのボランティアが集まったの会議の様子

（砂埃だらけの部屋でした。この辺はマスクが必需品）



スタートしたサロン「ぬくぬく亭」の看板



ぬくぬく亭の室内



山梨 YMCA の長野応援隊
第2弾の皆様。
ハードな作業をしていただき
ました

東京YMCAの皆様。大活躍の様子



冠水した災害の様子

YMCA の 12 月はクリスマス三昧

山梨 YMCA で行われるクリスマスはたくさんあります。開催順に並べると、10 日のぶどうの木を皮切りに、18 日に児童英語、21 日にはかわいいページェントが見られるつぼみぐる〜ぶ、その夜には成人英会話、そしてラストは 26 日にプライムタイム&きらきら教室の合同クリスマスと続きます。YMCA だけで全部で 5 回、それぞれ趣向を凝らしたクリスマス会が盛大に行われます。この後もスキーキャンプで毎晩クリスマスのお話をします。ありがたいことにすべてに出番をいただける私にとって、12 月は神様に祝福されまくる感じです。それぞれ対象に合わせてクリスマスのお話をしたり、ギターを弾きながらクリスマスソングを歌ったりします。クリスマスツリーはなぜもみの木なの？クリスマスカラーはなぜ赤と緑なの？クリスマスにはなぜキャンドルをともしの？三人の博士が持ってきたプレゼントの意味は何？そもそもなぜプレゼントってもらえるの？それぞれ深〜い意味があります。そんなお話を聞く時の子供たちのきらきらした目が好きです。こうした時間を過ごすたびに YMCA で働けている喜びを感じます。

そして YMCA と共に歩む山梨の三つのワイズ（甲府、甲府 21、富士五湖）もそれぞれクリスマス例会を行います。ボーイスカウト甲府 5 団のクリスマス、教会一致懇談会の県民クリスマスもあります。カレンダーを確かめながら、今年も楽しみなクリスマスシーズンを過ごしたいと思います。

これからの予定

12 月 14 日 あずさ部会 松本深志神社
 12 月 18 日 クリスマス例会 レストランやま
 1 月 15 日 例会
 2 月 8 日 評議会 甲府にて
 2 月 19 日 例会
 3 月？ 次期会長研修会
 3 月 18 日 例会

クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度後期会費(1月～6月)18000 円のお振り込みをお願いします。(1 年分は 36000 円です)

八十二銀行 昭和通営業部番号 214)

普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子